

令和2年度四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議 支援プロジェクト

	プロジェクト名及び概要	応募者名・団体名	支援してもらいたい内容
No.1	【WEBを活用した体験型講座の実施】 新型コロナウイルスの影響により、各家庭の暮らしや働き方に大きな変化が現れている。そこで、在宅時間が長くなっている現状を「基本的な省エネ」を見直す機会として捉え、‘‘ちょっとしたひと手間’’が、水光熱費の削減・ごみの減量・時間の短縮につながり、節約できたお金や時間が、生活に余裕をもたらす「リラックスエコ」の提案行うWEB講座(動画配信)を実施する。 また、このWEB講座と並行し、HPやSNSを活用して地球温暖化の現状や各地で行われている実践例などを伝えることで、家庭における安心・安全な省エネ及び地球温化防止活動を実践する層の広がりを目指す。 開催日：令和2年7月～12月 会 場：高知県地球温暖化防止活動推進センターのWEB上 (http://npo-kankyonomori.com/ondanka/) 主 催：高知県地球温暖化防止活動推進センター WEB講座のテーマ(予定) ① 7月1日のレジ袋有料化導入に合わせて、エコバッグ作り。 ② エアコン稼働時間を変えずとも省エネに資するため、エアコンフィルター清掃、快適なエアコンの使い方などに関する講座 ③ 快適で省エネに資する在宅ワークの提案を行う講座 ④ その他	高知県地球温暖化防止活動推進センター	参加者募集のための周知・呼び掛け
No.2	【うどんまるごと循環プロジェクト】 「うどんまるごと循環プロジェクト」は、2012年1月に設立、運営を開始し、「うどんをまるごと循環させる」を基本コンセプトとして、「うどんからうどんを作る」を合言葉に、うどんや食品廃棄物からバイオガスを生成しうどん発電を行ったり、バイオガス等を生成した後に残る残渣(カス)から生成される液肥(消化液)を使って、うどんの原料の小麦やうどんの薬味となるネギなどを試験的に栽培し、うどんから生まれる低炭素社会モデル、循環型社会モデルの構築を進めてきた。 2014年度には、「うどん発電」を導入することにより、従来バイオマスでは実現困難とされてきた採算性を確保するとともに、香川県内にこのモデルを浸透させるため、小中学生に対する環境教育を実施することを中心として取り組んできた。 こうしたことを踏まえ、2015年度以降は、これらの取組を更に発展させるため、①うどんまるごと循環システム・モデルの構築(完成)、②市民、学校等への全県的な普及啓発、③市民、企業、団体等による参画、を積極的に推し進めることにより、地球温暖化防止等に資することを目的としている。 2019年度は、さめき麺業で製造される規格外商品を坂出市社会福祉協議会や障がい者福祉施設にフードバンク活動として提供し、生活困窮者の方々に配布したり、子ども食堂で活用してもらっているなど、新たな取組により、規格外の中ゆでめんを1,300玉(260キログラム)提供した。 2020年度は、引き続き、フードバンク支援活動を行うとともに、うどんまるごとエコツアーなど、イベントを開催する予定	うどんまるごと循環コンソーシアム	イベント等における後援名義、募集のための周知・呼びかけ等
No.3	【ともにキッチンプロジェクト～みんなで楽しく料理をしながら食品ロスについて考えよう！～】 香川大学学生ESDプロジェクトSteeepは、環境問題に対する学習及び、地球温暖化防止活動の普及・啓発をしている学生団体であり、メンバーのうち地球温暖化防止活動センターから香川県学生地球温暖化防止活動推進員に任命されて活動している者もあり、平成29年度から香川県食品廃棄物削減推進協議会の後援を受けて、「みんなで楽しく料理をしながら食品ロスについて考えよう！」というコンセプトのもと、食品ロス削減イベント「ともにキッチン」を開催している。 ともにキッチンは、開催日当日に廃棄される予定の食材を地元スーパー(現時点では、新鮮市場きむら様、マルシェきむら様、JA香川様)から提供していただき、その食材を見ながら参加者全員で作る料理を考え、みんなで協力しながら作り、参加者同士との交流を図りながら、食品ロスについて考えようというイベントであり、現在、高松市内にあるコミュニティセンターで会場の予約ができた月は月一回と定期的に開催している。 現在、ともにキッチンでは少しずつ参加者が増えていってはいるが、まだ認知度が高い取り組みとは言えないのが現状である。これから月一回のペースで高松市内のコミュニティセンターでともにキッチンを、また高松市外からのご要望があれば出張ともにキッチンを継続的に開催する予定である。	香川大学学生ESDプロジェクト SteeeP	参加者募集のための周知・呼び掛け
No.4	【私たちが住むまちの環境活動を知ろう！『環境活動体験イベント in 高松（仮）』の開催を目指して】 香川大学学生ESDプロジェクトSteeepは、環境問題に対する学習及び、地球温暖化防止活動の普及・啓発をしている学生団体であり、メンバーのうち地球温暖化防止活動センターから香川県学生地球温暖化防止活動推進員に任命されて活動している者もあり、食品ロス削減イベント「ともにキッチン」開催の他、県内の小学校で地球温暖化に関する出張出前講座を行ったり、県内で開催されるイベント内でエコ工作のワークショップを開催したりしている。 各イベントにおけるアンケートをみると、「環境問題の実感がわからない」「我慢しなくてもいいのに我慢して、目に見えるメリットや面白みがないのにエコ活動をしようと思わない」などの意見があった。 このため、本プロジェクトでは、高松市内の商店街にある丸亀町グリーンのけやき広場で、参加者にブース出展や体験型ゲーム、スタンプラリー、エコの木の作成を行うなど身近な地球温暖化防止活動等の体験をしてもらって、地球温暖化防止活動などの環境活動に係る負のイメージをプラスに変えるとともに、環境問題に対して無関心から関心へと変えることを目標とする。	香川大学学生ESDプロジェクト SteeeP	参加者募集のための周知・呼び掛け